



安らぎの こもりうた



この夏、知り合いの方から「無事、ベビー誕生」の嬉しい知らせをいただきました。3600gというビッグベビーで、35時間もかかったけれど、我が腕に抱いた時の感動もビッグだったということです。結婚 10 年目の待望の赤ちゃんにママもパパもメロメロです。急にうなり出して真っ赤になったり、時々白眼になったり、口元をピクピクさせて笑う等、一日中見ていても飽きないようです。ママが話しかけると、眩しそうに目を開けて声の主を見ようと手足を動かす姿、それはまるで「ママに会いたくて生まれてきたよ」と言っているようだと、喜びを語っていました。

みずべでも可愛い赤ちゃんが、毎日お顔を見せてくれて和室にいる周りの人達を和ませてくれます。赤ちゃんやこども達には言葉や眼差しをを交わし、人と人を繋げる力があるのではないのでしょうか。

でも、どの子もいつもいつもご機嫌で過ごせるわけではありませんから、可愛い可愛いとばかりは言っていられないことでしょう。時には、眠いのになかなか寝付けず、ぐずることもあります。そんな時に抱っこやおんぶをして、静かに子守唄を聞かせてあげると、バタバタと動いていた手足がじきに動きを止め、泣き声が寝息に変わり、体を添わせてくれます。心が安らぎ心地よく眠りを誘う子守唄は、赤ちゃんやこどもの心やからだの隅々までしみ込んでいくようです。やがて何十年という時を経て、自分の腕の中で眠る子を見つめながら子守唄を唄う時、ふっと自分も唄ってもらったのかなと想像すると自分の中に懐かしく温かいものが響きます。その時のことは覚えていなくても、きっと心のふるさとして刻まれているのだと思いました。こどもが「もう、一人で寝られるよ」と言えるまで、ゆりかごのようなりズムで、ゆったりと聞かせてあげたいと思います。

依田幸子

「ママ、いつでも ぼくのこと ギューって（だきしめて）していいよ

ぼくはあったかいから さむいひは おとくだよ」



吉永 壘 6 歳 川崎洋編 おひさまのかけらより



今月の子育ての詩（うた）

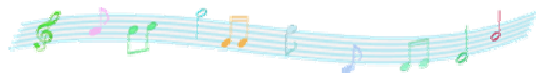
和光堂「子育て川柳」より

- ・ 「これください」「いらっしゃいませ！」エンドレス
- ・ 気をつけよう 娘の口癖 私から



今月のわたしのお気に入り

“ようこそ森へ”



作・絵: 村上康成

出版: 徳間書房

森へキャンプをしにいった家族の様子を木の上から眺めながらカケス(鳥)がつぶやいている。独り言のような、話しかけているような文章の進み方がとてもステキな1冊です。

中でもお気に入りは男の子とカケスの目が合うシーン。

いやされますよ。

(沢辺)



～ひろばにて～

南砂みずべでは3時40分になると「お片付けの時間ですよ～」ということで大江光さんの音楽が流れますが、それと同時に子ども達の「キャ～！！」という叫び声がひろばに響きます。それはお片付けのカゴの争奪戦の始まりを告げる子ども達の叫び声です。

「キャ～！」と叫びながら一目散に多目的トイレに向かい、4つしかないカゴを奪い合います。遊びに夢中になっていて出遅れようものなら、もうカゴは手に入りません。そこでケンカになったり、「ほしかった～。」と言って泣き出す子がいたり大変なのですが、最近少し様子が違ってきました。

カゴを2人で仲良く持つようになったり、お兄ちゃんお姉ちゃんが泣いている下の子にカゴを譲ったりという姿が見られるようになってきたのです。仲間意識や兄弟愛がちゃんと育っていく子ども達ってすごいですね。最初はトラブルの調整をしようと躍起になっていたスタッフやお母さん方も、最近では子ども達の自分達で解決する力を信じて、見守るようにしています。「大人が仲介しなくて大丈夫。」子どもたちはそう言っているみたいです。

みなさんのお子さんが争奪戦に参戦する日はいつでしょうね。

たくさん子ども達が参戦して、その中で成長してくれることを

願っています。



江東区南砂子ども家庭支援センター “みずべ”

〒136-0076 江東区南砂3-14-1-101 (指定管理者: 社会福祉法人雲柱社)

TEL03-5617-7772 FAX03-5617-7773 (児童虐待ホットライン TEL03-3646-5481)

Email: minamisunakosodate@ka.baynet.ne.jp URL: <http://www.kotomizube.jp>